

PRESS RELEASE

新病院建築における免震システムの先進事例として 「日本免震構造協会賞 技術賞」を受賞 受賞報告会を開催します @愛知県半田市

7月14日(月) 14:30～15:30 知多半島総合医療センター

今後発生が懸念される南海トラフ地震では、従来の設計想定レベルを大きく超える長周期・大振幅地震動となる可能性が指摘されています。その想定震源域に近接する愛知県半田市にある当院の建設にあたり開発した免震システムが、小・中地震から巨大地震まで多様な地震動に対して免震効果を発揮できることが評価され、株式会社内藤建築事務所、日鉄エンジニアリング株式会社、株式会社織本構造設計および株式会社PILLARとともに、当院職員が一般社団法人日本免震構造協会より第26回「日本免震構造協会賞 技術賞」を受賞しました。

これを受け、半田市長をはじめ関係者の出席のもと、「受賞報告会」を開催します。

※本受賞は、旧半田市立半田病院としての取り組みに対して受賞したものです。



- 【日 時】 2025年7月14日(月) 14:30～15:30
【場 所】 知多半島総合医療センター 1階 講堂（半田市横山町192番地）
【出 席】 半田市長 久世 孝宏様、株式会社内藤建築事務所 田山 太郎様
【内 容】 ・市長挨拶 ・受賞者によるスピーチ（免震装置・賞についての説明など）
・記念撮影、ほか ※希望者は免震システムの見学可能

当院の耐震性能目標は、建築基準法で定められた極めて稀に発生する地震動（以下、レベル2地震動）に対しては建物全体に損傷が生じず、直ちに病院機能を発揮できることに加え、建築基準法を上回る巨大地震（以下、レベル3・4地震動）に対しても、構造体の大きな補修をすることなく建物を使用でき、災害拠点病院として必要な病院機能を維持することです。

今回開発した多段すべり支承「TSB (Triple frictional Sliding Bearing)」は、球面すべり支承（以下、SSB）と、ピラフロン（以下、PTEE）とSUS板で構成された滑動基礎（以下、PSB）を上下に組み合わせたものです。レベル2地震動に対しては、上部のSSBのみが機能して地震動のエネルギーを吸収します。レベル3・4地震動に対しては、SSBの極限変形を超えると下部のPSBも機能して、「TSB」全体で巨大地震動のエネルギーを吸収し、上部構造の損傷や激しい揺れを防ぎます。

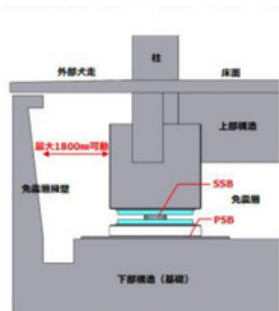


図1. 免震システム図解

名 称	ピラーフロゴールド
メーカー	日本ピラー工業株式会社
説 明	ピラフロン（PTEE）と金属板が強固に接合されたもの。
規 格	

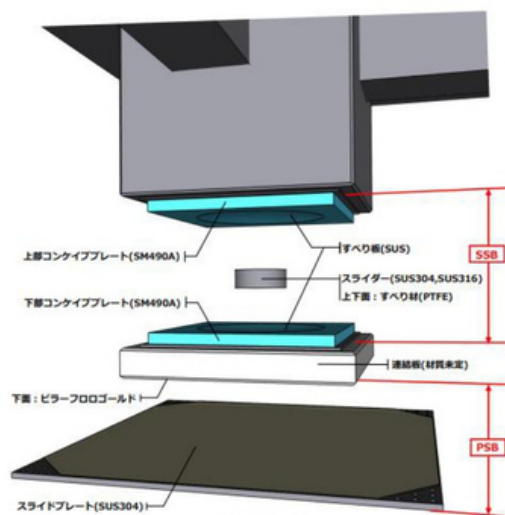
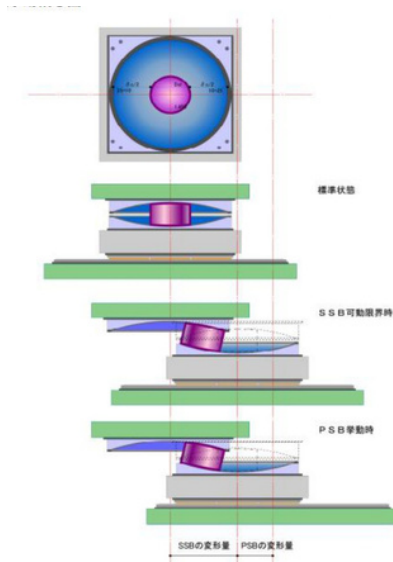


図2. 免震材料の構成



この「TSB」の実装により、南海トラフ地震の長周期・大振幅地震動に対しても災害拠点病院として医療機能を維持できる、高い耐震性能を有した病院となりました。



受賞者プロフィール

- 青木 賢治（あおき けんじ）
- 知多半島総合医療機構 総務課 課長
（受賞時は半田市立半田病院 管理課 主幹）
- コメント

半田市新庁舎での「接続型スイッチダンパーの開発」に続いての受賞となりました。免震装置は普段は見えない部分ですが、命を守る基盤として非常に重要です。”いざという時に頼れる病院”であり続けるために、見えない部分の建設にも力を尽くしてきました。今回の受賞は、地域の皆さんの安全安心につながる一歩になれば嬉しく思います。

お問い合わせ先

地方独立行政法人知多半島総合医療機構
経営企画課 企画・財政係 担当:福岡

☎ 0569-89-0515(内線2932)

✉ kikaku.zaisei@chitahantogmo.or.jp